

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 令和2年10月9日

【四半期会計期間】 第15期第3四半期（自平成31年4月1日至令和元年6月30日）

【会社名】 株式会社リアルワールド

【英訳名】 REALWORLD, inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 菊池 誠晃

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区元代々木町30番13号

【電話番号】 03-5465-0690

【事務連絡者氏名】 執行役員 樋口 隆康

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区元代々木町30番13号

【電話番号】 03-5465-0690

【事務連絡者氏名】 執行役員 樋口 隆康

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

令和元年8月14日に提出いたしました第15期第3四半期（自平成31年4月1日至令和元年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものがあります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 経営成績の状況

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 経営成績等の状況

(訂正前)

a. クラウドソーシング事業

多様な報酬獲得を推進する「稼ぎ方革命」の実現を目指し事業を推進しております。従来からのCROWDワーカーによる労働力提供をBPO事業子会社における労働力へ転換できるよう取り組み、次世代通信規格「5G」導入による動画ニーズの高まりに応えるべく動画制作にCROWDワーカーを活用するスキームの創造に注力してまいりました。

また、急激に成長を続ける動画市場に注力すべく、動画制作リソースがない事業者でも簡単に動画が制作できる動画制作ツール「カチッとムービー！」の提供を開始いたしました。

当第2四半期連結会計期間において株式会社マークアイの株式の売却を行ったことで、前年比売上・利益は減少しておりますが、売却により得られた資金を活用し、新しい事業への投資を進めております。

以上の結果、クラウドソーシング事業の売上高は1,280,551千円（前年同四半期比18.0%減）、セグメント損失は11,655千円（前年同四半期はセグメント利益126,186千円）となりました。

(訂正後)

a. クラウドソーシング事業

多様な報酬獲得を推進する「稼ぎ方革命」の実現を目指し事業を推進しております。従来からのCROWDワーカーによる労働力提供をBPO事業子会社における労働力へ転換できるよう取り組み、次世代通信規格「5G」導入による動画ニーズの高まりに応えるべく動画制作にCROWDワーカーを活用するスキームの創造に注力してまいりました。

また、急激に成長を続ける動画市場に注力すべく、動画制作リソースがない事業者でも簡単に動画が制作できる動画制作ツール「カチッとムービー！」の提供を開始いたしました。

当第2四半期連結会計期間において株式会社マークアイの株式の売却を行ったことで、前年比売上・利益は減少

しておりますが、売却により得られた資金を活用し、新しい事業への投資を進めております。

以上の結果、クラウドソーシング事業の売上高は1,280,551千円（前年同四半期比18.0%減）、セグメント損失は11,655千円（前年同四半期はセグメント利益90,189千円）となりました。

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表等

注記事項
（セグメント情報等）
セグメント情報

（訂正前）

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	クラウドソーシング事業	クラウドメディア事業	フィンテック事業(注)1	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,560,910	1,819,340	14,739	3,394,990	-	3,394,990
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,560,910	1,819,340	14,739	3,394,990	-	3,394,990
セグメント利益又は 損失()	126,186	59,384	5,117	180,453	354,127	173,673

(後略)

(訂正後)

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	クラウドソーシング事業	クラウドメディア事業	フィンテック事業(注)1	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,560,910	1,819,340	14,739	3,394,990	-	3,394,990
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,560,910	1,819,340	14,739	3,394,990	-	3,394,990
セグメント利益又は 損失()	90,189	59,384	5,117	144,456	318,129	173,673

(後略)